Si-V702

ソフトウェア説明書 V12



このたびは、Si-V702 基本ソフトウェア V12 をお買い上げいただき、まことにありがとう ございます。

本書には、以下の項目について記述されています。

・お買い上げいただきましたファームウェアの機能

- ・Si-V702のハードウェアに、ファームウェアをインストールするための手順
- ・添付取扱説明書(CD)の参照の仕方
- ・お取り扱い上の注意事項
- ・特定機能使用時の注意事項
- ・その他の注意事項

Si-V702 では、既にファームウェアはインストールされていますので、通常は「3.添付取扱 説明書(CD)の参照方法」からご利用ください。

基本ソフトウェアにはご使用条件があります。同梱の「使用許諾契約書」に記載され ていますので、必ずお読みください。

なお、インストールに関しては、担当富士通営業、または富士通のシステムエンジニア、富 士通の技術員にご用命ください。

本書における商標の表記について

Microsoft、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Netscape Communications、Netscape Communications logo、Netscape Navigator、Netscape は、米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

Windows ® 95 の正式名称は、 Microsoft ® Windows ® 95 operating system です。

Adobe、Adobeロゴ、Adobe Acrobat、Adobe Acrobatロゴは、Adobe System Incorporated (ア ドビシステムズ社)の商標です。

Windows ® 98 の正式名称は、 Microsoft ® Windows ® 98 operating system です。

Windows NT ® 4.0 の正式名称は、 Microsoft ® Windows NT ® Server network operating

system Version 4.0 、または Microsoft ® Windows NT ® Workstation operating system Version 4.0 です。

Windows ® 2000 の正式名称は、 Microsoft ® Windows ® 2000 Server network operating system 、または Microsoft ® Windows ® 2000 Professional operating system です。

i486は、Intel Corporationの商標です。

Intelは、Intel Corporationの登録商標です。

Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

IBMは、IBM Corp.の商標です。

目次

1	Si-V	7702 の機能	4
2	ファ	ームウェアのインストール手順	5
	2.1	ハードウェアの準備	. 6
	2.2	パソコンの準備	. 6
	2.3	FTP ファイル (ファームウェア) の転送	. 8
3	添付	取扱説明書(CD)の参照方法	11
	3.1	必要ソフトとインストールについて	11
	3.2	収録されているファイルを見るには	11
4	お取	(り扱い上の注意事項	12
5	特定	2機能使用時の注意事項1	13
	5.1	WIP 接続装置について	13
6	その	他の注意事項1	14
	6.1	使用ポート番号による優先制御について	14
	6.2	プロキシサーバ二重化機能利用時の動作保証範囲について	14
	6.3	使用可能な FAX 機器について	14
	6.4	FAX 信号誤検出時の対応について	15

1 Si-V702の機能

本ファームウェアを本装置にインストールすることにより実現できる機能の一覧を以下に 示します。本ファームウェアの版数は V12.00 です。

機能/分類	詳細		
発着信	FAX 無鳴動着信		
	リング音選択(3 種類)		
	ダイヤル桁間タイマ		
	複数台連携機能		
	着信グループ機能		
	保留音登録機能		
内線機能	内線通話		
	保留形式(RFC2543、RFC3264)		
補助機能	発着信記録		
	入力レベル、出力レベル (受話音量)、トーン送出		
	レベル設定可能		
	フッキング認識時間設定可能		
VoIP 機能	SIP (RFC3261)		
	T.38FAX 手順サポート		
	プロキシサーバ連携		
	呼毎のプロキシサーバ連携、スタティック切替機能		
	音声コーデック(G.711(µ-Law)、G.729A)		
	DTMF(インバンド)		
複数台連携	スタティック定義で最大 8 台まで連携可能		
ルーティングプロトコル	スタティック、RIP、RIP2(VLSM 対応)		
設定手段	WWW ブラウザ		
ロギング	システムログ		
簡単 / 便利機能	DHCP クライアント機能、		
	SNMP エージェント機能、		
レベルアップ	Web ワンタッチ、FTP サーバ機能		

:WEB 設定には、InternetExplorer 5.01 以上 / Netscape Communicator 4.7 以上(た だし Netscape6 以降を除く)をご利用ください。

2 ファームウェアのインストール手順

ファームウェアのインストールは、以下の手順で行います。

- 1.ハードウェアの準備(2.1節)
- 2.パソコンの準備(2.2節)
- 3.FTP ファイル(ファームウェア)の転送(2.3節)

なお、ファームウェアのエンハンス等の理由でファームウェアの更新/再インストールを行 う場合には、この手順のうち、「2 パソコンの準備」で IP アドレス・サブネットマスクの設 定を、現在の Si-V702 の運用にあわせた IP アドレス・サブネットマスクに設定してから行って ください。

また、取扱説明書の"第2部第3章 運用管理とメンテナンス"にも他の方法が記述してあ りますので参考にしてください。その場合は、"本装置のファームウェアを更新する"を参考 にファイルロケーションとして設定されたディレクトリ名+ファイル名でFTPファイル(ファ ームウェア)を作成してください。 2.1 ハードウェアの準備

ハードウェアの準備としては、ケーブルの接続を行う必要があります。

Si-V702の"toHUB-toPC"スイッチをtoPCに設定し、LANケーブル(カテゴリ5)を10BASE-T ポートに、カチッと音がするまでさし込んでください。ケーブルの反対側の端はパソコンの LANのポートにさし込んでください。ケーブルの接続が終了したら装置を起動します。

2.2 パソコンの準備

ファームウェアをインストールする場合には、パソコンに IP アドレス / サブネットマスク を設定しておく必要があります。パソコンには, Si-V702 と同じネットワークの IP アドレス を設定しなくてはなりません。例として、Si-V702 と同じネットワークの IP アドレスである (192.168.1.2/24)を Windows2000 パソコンに設定する手順を、以下に示します。

 Windows2000 の「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「ネットワーク とダイヤルアップ接続」 「ローカルエリア接続」を選択し、ローカルエリア接続を 開きます。



ローカルエリア接続状態で「プロパティ」をダブルクリックします。

ローカル エリア接続 状態			? ×
全般			
_ 接続			
状態:		接続	
維続時間:		3 🗄 13:47:07	
速度:		100.0 Mbps	
動作状況		_	
	送信 —— 🗏	「「」 受信	
パケット:	417,545	513,589	
<u>(७০/१७२२)</u>			
		閉じる(2)

- 3. インターネットプロトコル(TCP/IP)を選択しダブルクリックします。

4. IP アドレス・サブネットマスクをパソコンに設定します。
 192.168.1.2/24 IP アドレスが 192.168.1.2 でサブネットマスクが 255.255.255.0
 設定終了後は、「OK」をクリックします。

インターネット プロトコル(TCP/IP)のプロパティ ?! ×!						
全般						
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ てんだい。						
 IP アドレスを自動的に取得する(Q) 	○ IP アドレスを自動的に取得する(Q)					
─● 次の IP アドレスを使う(S): ──						
IP アドレスΦ:	192	168	1	2		
サブネット マスク(山):	255	255	255	0		
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):						
C DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(型)						
● 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):						
優先 DNS サーバー(P):						
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):						
<u> </u>						

5. 再起動を要求された場合は。再起動します。 設定を変更しない場合は、パソコンを再起動する必要はありません。 2.3 FTP ファイル (ファームウェア)の転送

FTP ファイル(ファームウェア)は CD 媒体に収録されている V12 版ファームウェア (¥V12¥SIVTSOFT)を使用してください。以下に FTP ファイル(ファームウェア)の転送手順を 説明します。

FTP ファイル (ファームウェア)の転送を行う際は、FTP ファイル (ファームウェア)が存 在するディレクトリで行ってください。また、CD 媒体から直接転送できない場合は、FTP ファ イル (ファームウェア)を一旦ローカルディスクにコピーし、コピー先のディレクトリから実 施してください。なお、例では Windows 2000 のコマンドプロンプトを使用して、FTP ファイ ル (ファームウェア)の転送を行っています。



1. FTP ファイル (ファームウェア)をローカルディスクにコピーします。

以下に FTP ファイル(ファームウェア)をローカルディスクにコピーする方法を説明 します。

例では、CDドライブをDドライブとして説明します。

CD 媒体を CD ドライブにさして以下のコマンドを実行します。

C:¥WINDOWS> copy d:¥V12¥SIVTSOFT . 🚽

: 上記方法では、ファイルを上書きするかどうかの問合せがある場合があります。 その場合には、yesまたはyを選択してください。

2. FTP で装置にログインします。

Windows2000から本装置に FTP でログインします。ログインする際のログイン名は" ftp-admin"、パスワードは必要に応じて入力します。 : 工場出荷時はパスワード未設定の状態です。この場合は、パスワードの入力は 不要です。

```
C:¥WINDOWS>ftp 192.168.1.1 (本装置の IP アドレス) ー
Connected to 192.168.1.1.
220 Si-V702 FTP server(Ver1.0) ready.
User (192.168.1.1:(none)): ftp-adminー
331 Password required for ftp-admin.
Password: ー
230 User ftp-admin logged in.
ftp>
```

3. FTP ファイル(ファームウェア)を本装置にアップロードします。 FTP ファイル(ファームウェア)を本装置にBINARY モードでアップロードします。"put" コマンドの書式は、「put パソコン側のファイル名 装置側のファイル名」です。「パ

コマンドの書式は、 put パンコン風のファイル名 装置風のファイル名」です。 パ ソコン側のファイル名」には、作成した FTP ファイル(ファームウェア)のファイル名 を、「装置側のファイル名」には、"firmware"と入力してください。

```
ftp> binary -
200 Type set to I.
ftp> put SIVTSOFT firmware-
200 Port command successful.
150 Opening BINARY mode data connection for 'firmware'.
226- Transfer complete.
update: Transfer file check now!
update: Transfer file check ok.
.
.
226 Write complete.
ftp>
```

装置が起動しなくなる 注意!!

:転送中には、絶対に電源OFF/リセットは行わないでください。もし,転送中に電源OFF/リセットした場合は、装置が起動しなくなります。

4.ファームウェアファイルが正しくアップロードできたことを確認します。

"Write complete"のメッセージが表示されれば正常終了です。

quit コマンドでftpを終了してください。

ftp> **quit**

C:¥WINDOWS>

- 5.ファームウェアを有効にするために、本装置を再起動します。 電源を切断したのち、再度電源を投入してください。
- 6. 再起動したら、ファームウェアが正しくインストールされていることを確認するために、 telnet もしくはコンソールから Si-V702 にログインして以下のコマンドを実行し、 "FIRM: "がV12.00 になっていることを確認してください。

idinfo

7.以上でファームウェアのインストールは終了です。

3 添付取扱説明書(CD)の参照方法

3.1 必要ソフトとインストールについて

・必要動作環境

Intel 486 以上のプロセッサ(Pentium 以上を推奨)を搭載した NEC PC9800 シリーズ、 または IBM PC/AT 互換機、CD-ROM/R/RW ドライブ、40MB 以上の空き容量のあるハード ディスク、OS は Windows 95/98/NT4.0/2000 以降

・必要アプリケーション

- Acrobat Reader 4.05 以降

・インストール

CD 媒体には AcrobatReader4.05J が含まれています。 Windows 上で"¥ACROREAD¥AR405JPN.EXE"を実行するとインストールを開始します。

3.2 収録されているファイルを見るには

CD媒体に収録されている index.htm をWWW ブラウザで開いてください。

4 お取り扱い上の注意事項

(1) 本装置は、雷や静電気などに対する保護回路を内蔵しています。そのため、雷や静電 気などが装置内に進入すると、アナログポートなどの一部機能が使用できなくなること があります。

この場合、装置の電源を再投入することで正常な状態に復旧します。なお、電源を再 投入してもアナログポートなどの一部機能が使用できない、あるいは、電源が入らない 場合は、「保護回路で保護しきれない状態となり装置が破壊された」と考えられます。 このような場合は、富士通の技術員にご連絡ください。

(2) ファームウェアの更新中は、絶対に電源 OFF / リセットは行わないでください。もし、 更新中に電源 OFF / リセットした場合は、装置が起動しなくなります。

5 特定機能使用時の注意事項

5.1 VoIP 接続装置について

本装置は SIP に準拠しています。しかしながら本装置で接続を保証している装置は以下の装置のみです。その他の VoIP 装置との接続については、それが SIP に準拠している装置であっても、本装置との接続は保証いたしません。接続保証をしている装置との接続でご利用ください。

装置種別	装置ベンダ	装置名
端末	富士通	Si-V702 (V11 , V12)
		SS-100/SS-120/SS-150
ゲートウェイ	富士通	Si-V704B (V11, V12)
		Si-V730 (V11 , V12)
		Si-V735 (V11 , V12)
プロキシサーバ	富士通	CLシリーズ
		IP-Pathfinder
		BroadWorks

接続保証装置一覧

6 その他の注意事項

6.1 使用ポート番号による優先制御について

本装置では、パケットの優先制御機能は提供しておりません。

ただし、ルータ等の他装置が提供するポート番号による優先制御機能によって優先制御 サービスを実現する場合は、次の情報を参考にしてください。

プロトコ	送信元情報のポート	宛先情報のポート	目的			
ル	番号	番号				
UDP	5060, 16384-16483	any	呼制御(着信用),音			
			声,T38FAX			
	any	5060,16384-16483	呼制御(発信用),音			
			声,T38FAX			

プロトコルと使用ポート番号

6.2 プロキシサーバニ重化機能利用時の動作保証範囲について

二重化機能を利用する環境においては、停電後の復電などが発生した場合エンドポイン トの連携先プロキシサーバが分散してしまうことがあります。

このような状態では同一のプロキシサーバに連携しているエンドポイントどうしでし か通話ができなくなります。

異なるプロキシサーバに分かれてエンドポイントが連携されてしまった場合には、セカ ンダリプロキシサーバを停止することで、連携先のプロキシサーブをプライマリプロキシ サーバへ集約することができます。

6.3 使用可能な FAX 機器について

エラーコレクトモード(ECM)のない FAX 機器をリアルタイム FAX 上で使用した場合に通信エラーとなる場合があります。これは、通信路上パケットロストの発生によりネゴシエーションデータが破棄された場合にエラーリカバリが行われず FAX 通信ができなくなることに起因しています。この場合、白紙の出力や通信異常が発生します。

6.4 FAX 信号誤検出時の対応について

一部の環境において FAX 信号を誤検出する場合があります。この場合、コマンドに よる設定にて誤検出をしにくくすることができます。

- phone analog fax detect time
- phone analog fax detect inputgain
- phone analog fax voicemode time

詳しくは、本製品に同梱 CD 媒体内のコマンドリファレンスを参照してください。

Si-V702

ソフトウェア説明書 ∀12

発行日 2005年7月 初版

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書は改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の
 特許権その他の権利については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁・乱丁本はお取り替えいたします。